

防衛大臣・田中直紀殿
沖縄防衛局長・真部朗殿

たび重なる高江への米軍ヘリパッド建設作業強行の中止と 建設計画の断念を求める

2012年1月20日 日本平和委員会

防衛省・沖縄防衛局は、東村高江での米軍ヘリパッド建設作業を、住民と私たちの再三の中止要請を無視し、連日強行しようとしている。防衛省と沖縄防衛局のこの不誠実な態度は断じて許すことができない。私たちは、これに厳しく抗議し、一切の作業の中止と、計画の撤回を求めるものである。

今やこのヘリパッドが、県民ぐるみで反対している新型輸送機オスプレイの訓練場になることは明白である。沖縄防衛局が作成した普天間基地代替施設の環境影響「評価書」でも、オスプレイの方が現在の米軍ヘリ CH46 よりも騒音を増加させ、睡眠障害など生理的影響への基準値を超えると予測されている。このようなものの建設に住民が不安を持ち、反対することは当然である。オスプレイ配備については、東村も計画の早期見直しを求める決議を採択している（12月16日）。しかし、沖縄防衛局はこれまで一切このオスプレイ配備計画を明らかにせず、その訓練の与える影響について、住民にまともな説明を行ってこなかった。このような中で作業を強行するなど、断じて許せない。

私たちはここに改めて、豊かな森と住民生活そして平和を破壊するヘリパッド建設計画を中止・撤回することを求めるものである。